

第10回宮崎チャレンジマッチ「バドミントン競技大会」

第10回宮崎チャレンジマッチ「バドミントン競技」が宮崎日日新聞社・MRT 宮崎放送・UMK テレビ宮崎・県教育委員会・県体育協会の主催で6月22日（土）、23日（日）の2日間にわたり、宮崎市総合体育館にて開催されました。

男子招待チームは大阪府の東大阪大学柏原高校でした。学校対抗戦では全国総体準優勝2回、全国選抜大会では優勝2回、個人戦でも優勝者を多く出すなど、全国屈指の強豪校であり、現日本代表選手の中にも柏原高校出身選手がいます。

女子は男子と同じ大阪府から四天王寺高校を招待しました。北京オリンピックや全日本で、最近ではメディアでも活躍する小椋久美子さん（潮田玲子さんとのペアでオグシオと呼ばれた）を輩出した学校であり、全国総体でも学校対抗戦で優勝、個人戦でもトップ選手を多く出している学校です。

6月22日（土）

今回はバドミントン教室の講師として、直前の全日本実業団大会で日本一にも輝いた「くまもと再春館製薬所」のバドミントンチームの監督・コーチ・選手の方々に来ていただきました。ロンドンオリンピック銀メダリストの垣岩令佳コーチをはじめ、全日本のトップクラスの実績を持ったコーチ陣がそろい、大変貴重な時間を過ごすことができました。垣岩コーチが持参されたロンドンオリンピックの銀メダルを実際に手に取った子どもたちからは「うわー重たい」、「すごいなあ」などの感想が聞こえました。この子どもたちが少しでもオリンピックを目指してほしいと感じました。今回の教室参加者は小中学生の県強化指定選手約110名で、池田雄一監督を中心とした各コーチから10コートにわかれ、きめ細かな指導をしていただきました。終わりには交流試合ということで、参加した110名の中から抽選で選ばれた選手達がコーチ・選手に挑んでいきました。会場を盛り上げるプレーも多く見られ、試合をした選手はもちろん、見ていた他の選手や保護者、観客にとっても貴重な経験になりました。

1日目 開始式、バドミントン教室



開始式



くまもと再春館製薬所バドミントンチーム



*オリンピア 垣岩コーチ



*本県出身 渡邊達哉コーチ



ロンドンオリンピック銀メダル

6月23日（日）

開会式セレモニー後、特別に設置された試合会場にて宮崎選抜対招待校の対戦が始まりました。会場には多くの方が来場され、最終的には約1,400人が観戦するという素晴らしい環境を作っていただきました。そんな緊張感を感じながら選手達は精一杯の試合を展開しました。

試合形式は団体戦で、ダブルスーシングルスーシングルスという国体と同じ形式で行いました。今回は特別に2マッチ先取で終わりではなく、最後まで試合を続けるという形式で行いました。

男子は平成30年度全国選抜大会で準優勝した小川航汰・樋口稜馬ペア（日章学園）と同年度全日本ジュニアで3位の山下蒼羽・寺田浩太郎ペア（柏原）の対戦でした。両ペアとも全国トップレベルということもあり、息をのむ展開の中、187cmの山下選手が打ち下ろすスマッシュを起点にゲームを作られ、ファイナルゲームになるも最終的には日章学園ペアが敗退してしまいました。その後のシングルスでは池田大将選手（日章学園）が平成30年度全日本ジュニアで3位、全国選抜ベスト8の高橋洸士選手（柏原）に挑みましたが、序盤こそ得意のスマッシュで得点を重ねたものの2ゲーム目ではしっかりと対応されてストレートで敗退しました。最後は小川選手が山下選手と対戦し、長身で打点の高いスマッシュを打たせないように気をつけながら、自分の展開に持って行くゲーム運びでストレートで勝利しましたが、トータル1対2で宮崎選抜の敗退となりました。

女子は全国での実績が特になく、全ての面において格上の相手に挑戦する形となりました。ダブルスは県内で優勝を重ねる宮崎愛弓・一ノ瀬遥ペア（宮崎商業）が平成30年度全国選抜大会ダブルスでベスト8の三輪音巴・兒玉亜依ペア（四天王寺）との対戦となりました。プレイの組み立て方でゲームを有利に運ぼうとする宮崎・一ノ瀬ペアに対し、三輪・兒玉ペアは攻撃的な展開で自分たちの流れに持って行こうとするスタイルを取ってきました。少しずつ守りの壁を崩された宮崎・一ノ瀬ペアは思い通りのプレーをさせてもらえずストレートで敗退しました。次のシングルスでは奥山楓月選手（日章学園）と徳岡梨々香選手（四天王寺）が対戦しました。ラリーの中で自分の流れを掴みたい奥山選手でしたが、ゲームの主導権を相手から奪うことができずに敗退しました。最後に出場した三嶋菜桜選手（聖心ウルスラ学園）は、相手のラリーにしっかり耐えながら攻撃のチャンスを見極め、得意のカットで相手を崩したり、得点に結びつける状況を作ったりとゲームの流れ、会場の雰囲気を引き寄せるプレーをすることができ、ゲームカウント2対1で勝利することができました。トータルでは1対2で宮崎選抜は敗戦しました。

大観衆の前で試合をするという普段ではない状況の中で緊張感のある試合ができたことは勝敗に関係なく、双方にとりとても良い経験になったのではないかと思います。告知から含めて、この大会に向けての関係機関の力の入れようは想像以上でした。

大会をご支援いただいた協賛各社等の皆様、多くの県民の皆様にご心から感謝申し上げます。

2日目 チャレンジマッチ



春山豪志体育協会会長あいさつ



記念写真撮影



競技の様子①女子試合



競技の様子②男子試合



チャレンジカップ贈呈



メダル贈呈



招待校監督インタビュー

大会結果

男子の部	優勝	東大阪大学柏原高等学校 (大阪府)	準優勝	宮崎選抜
女子の部	優勝	四天王寺高等学校 (大阪府)	準優勝	宮崎選抜